

紀要の創刊にあたって

島根県立看護短期大学長

恒松 徳五郎

島根県立看護短期大学は平成7年4月に開学しました。図書委員会（委員長 江角弘道）は所掌事項の一つである研究紀要の編集，発行に関する事業に早速，着手され創刊号が出版される運びとなりました。誠に喜ばしいことでもあります。本学の開学の理念のキーワードは，「人間愛」，「看護職の責務の探究」及び「開かれた大学」です。この理念を達成するには活気あふれる学問的雰囲気を創ることが大切だと思っています。教育では，日々の授業が学生にとって真に魅力的で新鮮なものであり，研究では看護を取り巻く今日的課題に真摯に立ち向かう態度がなによりも大切です。そして教育と研究とによって得られた成果を還元して地域社会の発展に貢献することこそが「開かれた大学」としてのあるべき姿だと考えています。かかる意味において，紀要の果たす役割には測り知れない程大きいものがあります。優れた原著論文，総説，報告その他が，数多く投稿，掲載されることを切に希望します。